

社会福祉法人 健誠会

平成 30 年度 事業報告書

令和元年 6 月

1. 法人の概要

- (1) 名 称 社会福祉法人 健誠会
- (2) 事務所の所在地 茨城県つくば市大曾根 3690
- (3) 設立認可年月日 平成 13 年 10 月 16 日
- (4) 事業の概要

○ 第一種社会福祉事業

- ・ 特別養護老人ホームの経営
- ・ 障害者支援施設の経営

○ 第二種社会福祉事業

- ・ 老人デイサービス事業の経営
- ・ 老人短期入所事業の経営
- ・ 障害福祉サービス事業の経営
- ・ 一般相談支援事業の経営
- ・ 特定相談支援事業の経営
- ・ 障害児相談支援事業の経営

(5) 役員・評議員（平成 31 年 3 月 31 日現在）

【理事長】 市原万里子

【理 事】 本多史郎 木村直貴 村田恵美子 日野西友子 細田市郎

【監 事】 馬場清康 森田里美

【評議員】 林浩一郎 鈴木富士雄 松宮洋子 森秀子 久野まち

渡邊尚之 柿沼宜夫

(6) 理事会・評議員会の開催状況

理事会の開催状況

開催年月日 (開催通知年月日)	議 案 名
2018.6.14 (2018.5.30)	・平成 29 年度決算並びに事業報告について ・新評議員候補者の推薦について ・事業所運営規程改正について ・評議員会議案の決定について
2018.8.28 (2018.8.17)	・特別養護老人ホームシニアガーデン・別館施設長の任免について ・地域密着型小規模特別養護老人ホームシニアガーデンアネックス施設長の任免について ・障害者支援施設つくば総合福祉センター施設長の任免について
2018.11.22 (2018.11.5)	・平成 30 年度補正予算(案)について ・永福南社会福祉ガーデン施設長の任命について ・通所介護事業所シニアガーデンアネックス運営規程の改正について ・評議員会の日時及び場所、議案の決定について
2019.3.14 (2019.3.1)	・平成 30 年度補正予算 ・平成 31 年度事業計画 ・平成 31 年度予算 ・経理規程の改定について ・(仮称)南麻布四丁目特別養護老人ホーム開設に係る業者選定について ・(仮称)南麻布四丁目特別養護老人ホーム開設に係る資金計画 つなぎ融資の継続更新について ・永福南社会福祉ガーデン 障害者支援施設 定員の変更について ・評議員会の日時及び場所、議案の決定について

評議員会の開催状況

開催年月日 (開催通知年月日)	議 案 名
2018.6.28 (2018.6.15)	・平成 29 年度決算について
2018.12.14 (2018.11.28)	・平成 30 年度補正予算(案)について
2019.3.26 (2019.3.14)	・平成 30 年度補正予算 ・平成 31 年度事業計画 ・平成 31 年度予算

(7) 施設・職員数・定員

平成 31 年 3 月 31 日現在

施 設 名	施設長・管理者	職 員 数	利 用 者 定 員
シニアガーデン	宮本直美	常勤 63 名 非常勤 10 名	50 名 (入所) 20 名 (短期入所) 40 名 (通所) 29 名 (別館入所)
シニアガーデンアネックス	上田文代	常勤 40 名 非常勤 8 名	29 名 (入所) 20 名 (短期入所) 40 名 (通所)
つくば総合福祉センター	篠崎純一	常勤 32 名 非常勤 6 名	40 名 (入所生活介護) 20 名 (通所生活介護) 4 名 (短期入所)
知的障害者グループホーム 六本木ヒルサイドホーム	木村直貴	常勤 5 名 非常勤 5 名	10 名 (共同生活援助) 2 名 (短期入所)
特別養護老人ホーム 永福南社会福祉ガーデン	大島茂則	常勤 36 名 非常勤 16 名	70 名 (入所) 10 名 (短期入所)
障害者支援施設 永福南社会福祉ガーデン	大島茂則	常勤 18 名 非常勤 8 名	12 名 (生活介護)
居宅介護支援事業所シニア ガーデンアネックス	仙波幸江	常勤 6 名 非常勤 0 名	
一般・特定障害者 (児) 相談 支援事業所サポートプラザ つくば	渡辺千尋	常勤 5 名 非常勤 0 名	

(8) 地域における公益的な取組

「地域の方と交流」事業

大曽根上構造改善センターを主な会場として、地域の高齢者を対象に、無料で体操・介護相談・折り紙・クイズ等の活動を実施。

実施日	参加人数	主な活動内容
平成 30 年 4 月 9 日	16 名	お話し「高齢者疾患予防」 体操「リズム体操 手・指の体操」 介護相談
6 月 3 日	19 名	お話し「納涼祭へのお誘い」 折り紙「ごみ箱 作り」 高齢者体操「手・指の体操 認知症予防 体操」 早口遊び 介護相談
7 月 2 日	17 名	お話し「納涼祭へのお誘い」 高齢者体操「手・ 指の体操 認知症予防体操」 数字並べクイズ 介護相談
9 月 16 日	17 名	敬老の日「プレゼント贈呈」 昭和クイズ 盆踊り「炭鉱節・源太音頭」 介護相談
10 月 21 日	18 名	折り紙「傘作り」 高齢者体操「手・指の体操 認 知症予防体操」 数字並べクイズ 介護相談
12 月 23 日	17 名	お話し「冬至に因んで」 懐メロ合唱「憧れの ハワイ航路・リンゴの歌」 憧れのハワイ航路体 操 ゲーム「長くつないで」 カレンダー配布 介護相談
平成 31 年 1 月 27 日	17 名	お話し「インフルエンザ予防」 講習「マスクの 着用方法実践」 初笑い「おかめ・ひょっとこ体 操」 全身体操 認知症予防体操
2 月 24 日	19 名	講演「笑いヨガ：講師 三浦亜子」 懐メロ合 唱 お話し「エイジレス制度導入について」 介 護相談
3 月 10 日	18 名	ゲーム「間違い探し」 童謡合唱「春よ来い・ 春」 紙芝居 介護相談

2. 施設・事業所別事業報告

平成 30 年度事業報告（施設名 シニアガーデン・別館）

事業所名	定員	稼働率
特別養護老人ホーム シニアガーデン	50名	95%
短期入所生活介護事業所 シニアガーデン	20名	94.4%
通所介護事業所 シニアガーデン	40名	69.1%
地域密着型小規模特別養護老人ホーム シニアガーデン別館	29名	94.8%

事業の概要

<特別養護老人ホーム（入所）>

入院数が最大6名あり、月平均入院者が3.5人と入院での空床がある状態でした。肺炎・尿路感染での入院者が多く、また同じ利用者の入退院が多くなっています。繰り返される肺炎や介護事故の再発防止対策の再検討を重点項目とし、ケアの質の向上に多職種で取り組んで参ります。

<短期入所（ショートステイ）>

20床のうち17～18名のロングショートを維持していました。単発は定期的な利用が多い状況です。緊急での対応も入所の空床利用で積極的におこなわれています。単発での利用の待機者が少ないので、空床状況を地域の居宅事業所にPRし、今後も地域のニーズに応じて行けるよう努めます。

<通所介護（デイサービス）>

新規利用者の獲得は39名と目標の45名には達成しませんでした。当日の利用のキャンセルが多く横ばいの稼働でした。利用者の増回とキャンセル減少の対策としてイベントの企画、利用時間の柔軟な対応は継続していきます。今後も営業活動でPRしキャンセルをみこし、新規獲得していきます。また、地域の老人会の方との交流を継続し地域のニーズに応えられるようにしていきます。

<地域密着型小規模特別養護老人ホーム>

看取りや状態が不安定な方が多く、退所者が下半期で10名でした。待機者も少ない状況で、ご案内できる入居者が少なく空床期間が長期になってしまいました。待機者の状態の把握をし、待機者の確保のために営業活動を行い、別館のPRをしていきます。

平成30年度事業報告（施設名 シニアガーデンアネックス）

事業所名	定員	稼働率（年）
地域密着型小規模特別養護老人ホーム	29	93.8%
短期入所生活介護事業所	20	80.1%
通所介護事業所	40	61.7%

事業の概要

<地域密着型小規模特別養護老人ホーム> 年間稼働前年比-5.9%

上期に空室が続いたことが影響（92.4%）し年間稼働が低下したが、下期稼働（98.6%）では+6.2%改善できた。

入院に伴う環境の変化を嫌う利用者や家族の意向を最優先とし、他職種協働での施設内での治療や療養ができていることや、看取り介護については家族を巻き込んで定期的に個別性の高いケアができているか見直しを行っていることは、利用者やご家族の満足度に繋がっている。今後も従来型ではできない個別性の高い生活が継続できるよう、ユニットケアについての学びを深め、さらに利用者の満足度向上を目指す。

空床に対しては、施設内の入所待機者について準備を進めておくこと、入院中のベッドの活用としては短期入所に利用することなどを相談員とともに体制を整え、実践可能となった。今後も、入所希望があった際には入所検討会議などでつくば市に確認しながら制度の熟知に努め、お困りの方が利用できるよう調整する。

<短期入所生活介護事業所> 年間稼働前年比+6.8

上期稼働（81%）に続き下期も利用者が増加（84.6%）できた。緊急などを可能な限り受け入れたことや、ロング利用者の目標数を上げ確保に努めることで年末を中心に満床利用が続いた。

ロング利用者は入所待機の方が多いが、介護度や料金の他、住所地など様々な理由でグループ外の施設に突然移行することがあり、急なロングの空床・入所待機のキャンセルが課題でもある。

各居宅ケアマネとの連携を大切に、きちんと提供している介護サービスのPRができるよう、情報収集し広報活動の活発化を図る。

<通所介護事業所> 、年間稼働前年比+0.2%

上期稼働59.5%から下期稼働64.4%と増加がみられた。新規獲得に「お試し利用」は効果があり、イベント開催も回数が増え、増回や利用総数も伸びている。入院による中止や利用終了、キャンセルも一定数が見込まれるため、新たなサービスの展開を検討しPRしていく。

<その他>

職員数も増加したため、利用者ニーズを中心に生活支援の質の向上ができるよう努める。

平成 30 年度事業報告（施設名 アネックス居宅）

事業所名	定員	稼働率
居宅支援事業所シニアガーデンアネックス	CM6 名	94%

事業の概要

H30 年 1 月からケアマネジャー6 名体制（内主任 CM2 名）となり、新人職員は CM 業務が未経験のため、仕事を覚えながらの対応でした。

4 月の時点では受け持ち人数が少ない状況で、事業所全体でも稼働率 88%と一時的に減少した状態であったため、積極的に新規受け入れを行いました。

全体では 30 年度の新規契約 69 名、契約終了者（施設入所、永眠等）39 名対応。
新人 CM も段階的に受け持ち人数を増やすことができ、H31,3 月の時点で事業所全体 98%の稼働となりました。

事業所内では主任ケアマネジャー取得の研修を受け 1 名追加となりました。
研修については、毎月つくば市 CM 連絡会で行われる研修の他、地域別ケア会議、多職種連携のための意見交換会など積極的に外部研修に参加し、各自スキルアップ・自己研鑽に努めています。

その他 事業所内の事例検討を毎週行い、困難事例等話し合いを行うなど質の高い支援が提供できるよう努めています。

又、今年度から新たに「特定事業所Ⅱ」の要件として「他事業所との合同研修の計画・実施」が加えられ、いちほら居宅と合同し研修を行いました。

医療から在宅へシームレスな関係が求められていることから、入院時の情報提供、退院時のカンファレンスの参加、サービス担当者会議の開催など行い顔の見える連携を心掛けています。

アネックス居宅開設より 5 年目を迎え利用者様よりの紹介、他事業所・病院からの紹介も増えています。

今後も地域・グループに貢献できるよう体制を強化し、居宅として安定した運営を行ってまいります。

平成 30 年度事業報告（施設名 つくば総合福祉センター）

事業所名	定員	稼働率
つくば総合福祉センター 入所	40 名	96%
つくば総合福祉センター 通所	20 名	94.9%
つくば総合福祉センター 短期入所	4 名	85.2%
つくば総合福祉センター 日中一時預かり	5 名	79.6%

事業の概要

【入所】

長期入院者を防止するため、施設内に感染症を持ち込まないよう、基本的な感染予防策に努めました。その効果もあり、インフルエンザについては 2 名感染者（内 1 名入院）が出ましたが、集団発生には至りませんでした。また、入所者の重度・高齢化に対しては、入院時、病院との情報交換を定期的に行ったことで、スムーズな入退所ができ、稼働の低下を防ぐことができました。引き続き、多職種と連携し、チームケアの提供に努めます。

【通所】

上期後半から取り組んだ、現利用者の利用増回や、新規利用者獲得のための特別支援学校への PR 強化の効果で、利用者登録数は増加傾向となっています。実績については、感染症流行期に低下しましたが、収束すると回復しております。課題でもあった人員体制（送迎ドライバー等）も確保できつつあるため、送迎範囲の拡大や送迎回数の増回等を行い、更なる利用者の獲得に努めます。

【短期入所】

身体障害だけでなく、様々な障害に対しての受け入れを積極的に行ったことで、登録者が増え、稼働の安定化につながっています。また、つくば市からの緊急受け入れ要請にも迅速に対応したことで、行政へのアピールもできました。県外からの利用希望もあるため、積極的に受け入れ、入所にもつなげていけるよう努めていきます。

【日中一時預かり】

家族や利用者のニーズに合わせて柔軟に対応していく事業のため、急なキャンセルが多いのが課題でしたが、キャンセルを見越した利用者設定を行ったことで、徐々に稼働が安定してきました。当事業所の強みでもある、ライフサイクルや発達段階に応じた一貫したサービスが提供できる点を PR し、特別支援学校の学生を中心に、まだ施設を利用したことのない方へのアプローチを積極的に行っていきます。

平成 30 年度事業報告（施設名 サポートプラザつくば ）

事業所名	予定数/実績	増加率
特定相談支援事業/障害児相談支援事業（計画）	121 / 185	153%
特定相談支援事業/障害児相談支援事業（モニタリング）	374 / 493	132%
一般相談支援事業(地域移行・地域定着)	2（実績）	—
つくば市障害支援区分認定調査（つくば市委託事業	12（実績）	—

事業の概要

特定相談支援事業及び障害児相談支援事業につきましては、利用契約者数及び各対応件数は年々増加しており、契約者は平成 30 年度末で 200 名となりました。同事業については、障害福祉サービスの利用を希望する方が対象です。実績増加理由として、新規契約者が増加することに伴うものの他、重度・多様化する障害児者の状況に応じた対応を行ったことが理由であると考えます。その中で、地域のあらゆる機関との連携、他法含める幅広い知識の習得の課題、利用者の状況に応じ広域からの相談対応等、支援の幅も年々広がっております。そのような幅広い相談が増加する中で、事業所内研修を強化し相談員同士の知識や相談支援技術の向上を目指し、様々な課題を抱える利用者の対応が出来る人材の育成を行いました。

一般相談支援事業につきましては、1 年以上の長期入院をしている精神障害者が対象となる退院前の短期的な支援です。全国的に利用者が少ない事業である中で、長期入院中の精神障害の方が地域へ移行する際の支援に関わることが出来たことは、他の事業にて利用者に関わる際にも大きな経験となり、また、支援に活かすことが出来たと考えます。また、つくば市基幹相談支援センターにつきましては、今年度もつくば市より依頼があり受託した事業となります。つくば市に住む障害のある方や疑いの方、そのご家族や関係機関などから様々な相談をその状況に応じて単発・継続的に行いました。

現在、つくば市において整備が進められている地域生活支援拠点整備においても、今後益々障害児者相談支援の担う役割は大きくなると考えます。そのような地域の動向に応じ、多角的な視点で幅広く対応が出来る相談支援事業所を目指し今後も各事業に取り組んで参ります。

平成 30 年度事業報告（施設名 六本木ヒルサイドホーム）

事業所名	定員	稼働率
共同生活援助（入居）	10	98.2%
短期入所（ショートステイ）	2	64.4%

事業の概要

共同生活援助（入居）は 10 月末に疾病重度化の為 1 名退所。港区と追加募集説明会や実地調査、判定会議を経て翌年 1 月に再度満床となりました。しかし、区立施設と同様の入居手順を踏むため約 2 か月の空床期間が生じてしまいました。他の完全民間施設とは違い、待機者確保や独自での利用者選定ができない為、退所に伴う空床期間への補償などを区と協議していきます。

短期入所は、徐々に区民の理解も得られ、8 月頃より実稼働率が 90% 超で推移しています。現在は 2 か月先の予約がすべて埋まっており、緊急時や新規利用に対応できないといった課題も出てきています。

港区とも良好な関係性を築けており、区内のグループホームの中でもっとも多くの入居者、重度者に対応でき、短期入所可能な施設として中心的役割になっているほか、永福南社会福祉ガーデンへの港区視察実施調整や港区利用者がつくば市の施設で支援が受けられるようサポートプラザつくばへの仲介を行い、すでに複数名がサポートプラザと契約や支援を受けているなど、区市町村を超えた関係性の構築が図れてきました。また、港区は短期入所の不足に対して、次年度より当施設の成功をモデルに第一号の区立短期入所施設を開設するなど、区内における影響力や評価を得ることができています。

障害者福祉事業の運営においては、利用者への支援以外にも、他事業所など地域の社会資源や行政など関係機関との区市町村や都道府県を超えた広域の連携協力体制が不可欠であり、生命線となります。施設の知名度や評価を上げることがそのまま実績やランク付け、入職希望者の増加に直結するといった特徴があるため、利用者や地域・行政を含めた関係機関の信頼を引き続き得られるよう運営をしていきます。

また、今後は職員の雇用形態の変更や南麻布新施設とで職員教育・人員を共有することにより、他施設にない現在の豊富な人員配置やサービス体制を維持しつつ、人件費の削減と職員の質の向上を図っていきます。

平成 30 年度事業報告（施設名 永福南社会福祉ガーデン ）

事業所名	定員	稼働率
特別養護老人ホーム	70 名	70.9%
障害者支援施設（入所）	10 名	88%
障害者支援施設（通所）	2 名	80%

事業の概要

〈特別養護老人ホーム〉

今年の 2 月までは 6 ユニットまでの受入だったが、3 月より 7 ユニット（全室）を稼働することができました。現在は稼働も 90%を超えている状況です。

しかし、入所者の中には看取りの方もいらっしゃるので今後は待機者を増やし、空床の期間を短くして稼働の安定を図って参ります。

〈障害者支援施設 入所〉

現在、満床で推移しております。

しかし、入所までの流れで区役所との打ち合わせ等に時間がかかり、1 人利用者を決定するまでに 3 ヶ月間かかってしまうことがありました。今後は区役所との連携を強くしていき、入所までの期間を短くする努力をしてまいります。

〈障害者支援施設 通所〉

毎日 2 名、同じ利用者様にご利用になっております。

4 月からは 4 名にする予定になっており、利用者も決定しております。

障害については入所・通所とも満床の状況なので、入院にならないように早めの受診等に心がけ、稼働の安定を図って参ります